

生涯投資家 (文春e-book)

生涯投資家

Murakami Yoshiaki

村上世彰

文藝春秋

日本企業の「あるべき姿」
を求めて私は闘い続けた——

“村上ファンド”

を率いて日本に旋風を巻き起こした男の、

最初で最後の告白。

発売日: 2017年6月21日

出版: 文藝春秋

著者: 村上世彰

ページ: 237

PDF

「お金儲けは悪いことですか？」

2006年6月、ニッポン放送株をめぐるインサイダー取引を行った容疑で逮捕され、有罪判決を受けた村上ファンドの村上世彰氏。

本書は、株の世界に復帰し動向が注目されている村上氏の、最初にして最後の著書で、半生記であり、投資理念の解説書でもある。灘高 東大法 通産省を歩んだエリートがなぜ投資の世界に飛び込み、いったい何を試みたのか。投資哲学、日本企業、日本の経営者たちへの見方とは。

【目次】

- はじめに なぜ私は投資家になったか
- 第1章 何のための上場か
 - ・・・官僚として見た上場企業の姿/コーポレート・ガバナンスの研究 ほか
- 第2章 投資家と経営者とコーポレート・ガバナンス
 - ・・・私の投資術/累積投票制度を導入せよ 東芝の大きな過ち ほか
- 第3章 東京スタイルでプロキシファイトに挑む
 - ・・・決戦の株主総会 ほか
- 第4章 ニッポン放送とフジテレビ
 - ・・・私が見たライブドア対フジテレビ ほか
- 第5章 阪神鉄道大再編計画
 - ・・・西武鉄道改革の夢 堤義明氏との対話/阪神タイガース上場プラン 星野仙一氏発言の衝撃
- 第6章 IT企業への投資 ベンチャーの経営者たち
 - ・・・楽天 三木谷浩史氏の積極的なM&A/ライブドア 既得権益に猛然と挑んだ堀江貴文氏 ほか
- 第7章 日本の問題点 投資家の視点から
 - ・・・日本の株式市場が陥った悪循環 ほか
- 第8章 日本への提言
 - ・・・コーポレート・ガバナンスの浸透に向けて/世界一の借金大国からの脱却 ほか
- 第9章 失意からの十年
 - ・・・東日本大震災について/フィンテックへの投資 ほか

<http://yep.pm/X2o3mbBi5/pyB9kMIMM.pdf.rar>